

## 光機能性材料研究会

### 1、発足の背景と活動趣旨

このたび、「感光材料研究会」を「光機能性材料研究会」と改称致しました。改称にあたり、これまでの経緯並びに改称の趣旨、狙いについてまずご紹介させていただきます。

長年に渡り活動してきた「写真科学研究会」が、12～3年前に、研究対象をハロゲン化銀に限らず、非銀塩分野にも広げることがを意図して「感光材料研究会」に改称し、感光材料の基礎研究や商品化研究に限らずに、多方面の応用分野や関連分野と意見交換をすることを目指して活動してきました。

しかしながら、デジタル時代の到来とともに、「写真用材料」＝「感光材料」という模式はもはや成立たなくなり、「写真」を考える際に、「光に関連した機能材料」を、広く理解し、題材として取扱うことが必要な状況となってきました。このような状況を鑑み、「感光材料研究会」を「光機能性材料研究会」に改称しました。

「光機能性材料研究会」の狙い、目的は以下の通りです。

(1) 写真、画像の電子化が進み、材料・デバイス・ソフトの各分野で種々の技術革新が起こっている中で、写真、画像の材料に関する技術革新と技術のレベルアップを図るために、異分野を含め材料技術に関する技術者の交流を広く図る。

(2) 講演会、写真学会の特別セッション等の形で実施される上記交流の記録を特別記事という形で学会誌に組み込み、その一端をより多くの学会員の方々に情報提供する。

### 2、最近の活動状況および今後の予定

さて、ここ1年間での活動内容を次にご報告させていただきます。

『画像・線画像用色材色素の高機能化―耐久性・消色性のケミストリー』（平成15年9月25日開催）

(1) 「ピロロピロール顔料の混晶構造と発色機構について」

横浜国大大学院工学研究院 水口 仁

(2) 「印刷インキ顔料の耐候性」

大日本インキ化学工業（株） 嶋田 勝徳

(3) 「可逆性感熱記録材料の素材設計」

―脂肪酸誘導体の分子会合を利用したロイコ染料のサーモクロミズム―  
三菱製紙（株） 丸山 淳

(4) 「昇華転写材料のデジタルフォトへの展開」

大日本印刷（株） 坂本 健司

(5) 「銀塩カラー印画紙の画像堅牢化技術」

富士写真フィルム（株） 御子柴 尚

各分野の最先端の研究開発に関する報告であり、多くの方々に参加頂きました。また、

講演会終了後、懇親会を開催し、研究者同士の熱気にあふれた交流が図ることが出来ました。演者の方々には、ご多忙の中講演して戴いたことを感謝しております。また、本講演内容については、『色材色素の高機能化—耐久性・消色性のケミストリー』と題して、本学会誌 2004 年 67 巻 2 号に特集させていただきました。

今年の年次大会では、「銀塩写真システム」並びに「画像記録材料、光機能性材料・化合物、表示素子」を担当し、さらにセッション企画講演会として『電子ペーパー時代へ向けての材料開発』を開催致しました。講演テーマは以下の通りです。

(1) 「電子ペーパーの方式と現況」

千葉大学工学部 小林 範久

(2) 「CN 液晶ディスプレイの開発と電子ペーパーへの応用」

コニカミノルタテクノロジーセンター (株) 小林 信幸

(3) 「ロイコ色素系可逆性感熱記録材料の分子設計」

三菱製紙 (株) 丸山 淳

演者の方々には、電子ペーパーに関する概論および各方式の特徴について、材料技術を中心としたトピックスを判りやすくご紹介戴き、活発な議論が為されました。

本年 12 月には、下記のような第 1 回光機能性材料セミナー『光機能性有機薄膜界面の電子構造とキャリアーの移動』の開催を予定しております。有機薄膜/電極界面での電子構造とキャリアーの移動は、有機 EL や FET などのデバイスおよび材料設計において、また銀塩感光材料の分光増感を行う際にも、重要なポイントとなる共通の課題であります。そこで、異分野に共通する標記の課題でセミナーを企画致しました。多くの方々に参加され、活発な情報、意見交換が為されることを期待しています。

日時：平成 16 年 12 月 1 日 (水) 10 時～16 時 30 分

会場：中央大学駿河台記念館 520 号会議室

『光機能性有機薄膜界面の電子構造とキャリアーの移動』

(1) 「有機薄膜/金属界面の電子構造」

名古屋大学物質科学国際研究センター・高等研究院 関 一彦

(2) 「色素薄膜/ハロゲン化銀界面の電子構造とキャリアー注入」

富士写真フィルム (株) 谷 忠昭

(3) 「液晶性有機半導体の開発と電極からのキャリアー注入」

東京工業大学像情報工学研究施設 半那 純一

(4) 「有機 EL/透明電極界面の電子注入とシースルー有機 EL の開発」

東京工芸大学工学部 ○内田 孝幸、大塚 正男

### 3、研究会委員

御船博幸 (富士写真フィルム)、池洲悟 (コニカミノルタテクノロジーセンター)、大谷博史 (コニカミノルタフォトイメージング)、柴史之 (千葉大学)、佐藤智生 (筑波大学)、久

下謙一（千葉大学）、岡野光俊（東京工芸大学）、小林範久（千葉大学）、高岡和千代（三菱製紙）、稲垣由夫（富士写真フィルム）

#### 4、参加方法と連絡先

講演会や学会誌特集で取り上げて欲しいテーマや講演者がございましたら是非下記にご連絡下さい。

連絡先： 池洲 悟 [satoru.ikesu@konicaminolta.jp](mailto:satoru.ikesu@konicaminolta.jp)